

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIスリランカ短期国債ファンド(毎月決算型)」は、2020年6月17日に第41期決算を行いました。

当ファンドは、主として「SBI債券 スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資することで、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行いました。ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第41期末(2020年6月17日)

基準価額	8,628円
純資産総額	273百万円
第36期～第41期	
騰落率	4.6%
分配金(税込み)合計	210円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス ⇒ 「ファンド情報」 ⇒ 「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書(全体版)」より該当の決算期を選択ください。

SBIスリランカ短期国債ファンド (毎月決算型)

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第7作成期

第36期(決算日2020年1月17日) 第37期(決算日2020年2月17日)

第38期(決算日2020年3月17日) 第39期(決算日2020年4月17日)

第40期(決算日2020年5月18日) 第41期(決算日2020年6月17日)

作成対象期間(2019年12月18日～2020年6月17日)

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

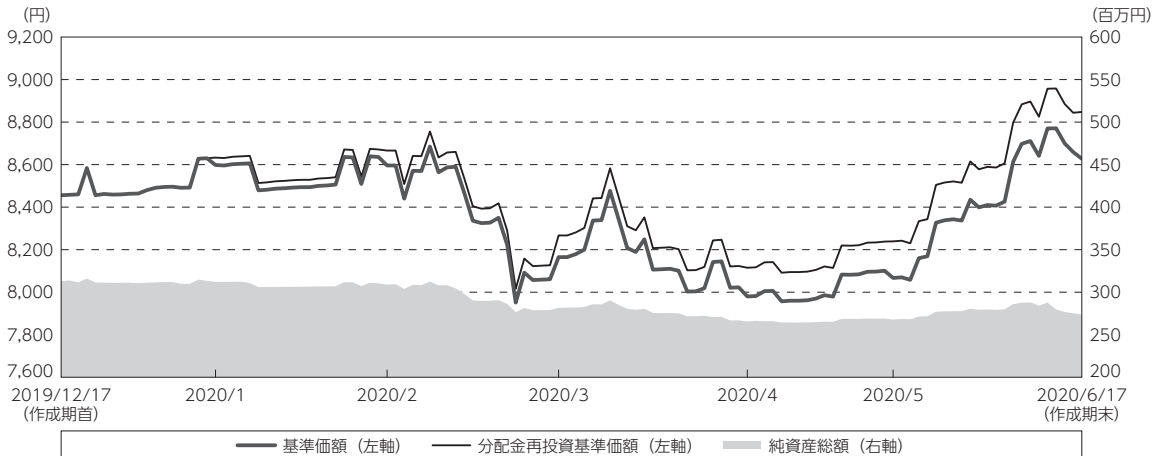
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiam.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2019年12月18日～2020年6月17日)



第36期首：8,456円

第41期末：8,628円 (既払分配金(税込み)：210円)

騰落率：4.6% (分配金再投資ベース)

- (注1) 当ファンドは主として「SBIボンド スリランカ短期国債ファンド (適格機関投資家専用)」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2019年12月17日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

スリランカ国債市場では、インフレ見通しの低下を背景に、2020年1月にスリランカ中央銀行は政策金利の引き下げを決定し、金利低下(債券価格は上昇)により、当ファンドの基準価額はやや上昇しました。2月以降は、世界的な金融市場の混乱を受けてスリランカ国債の利回りは上昇(債券価格は下落)しましたが、当ファンドが実質的に組み入れるスリランカ国債は短期債であることから、影響は軽微となりました。

3月には、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による金融市場の混乱により、スリランカ中央銀行は0.25%の緊急利下げを実施しました。スリランカ国債の利回りは低下しましたが、外国為替市場においてスリランカ・ルピーが対ドルや対円で下落(円高が進行)したことから、当ファンドの基準価額も急落しました。

4月に入ると、スリランカ中央銀行はさらに0.25%の利下げを実施し、スリランカ国債の利回りは低下したものの、スリランカ・ルピーが対円で下落したことにより、当ファンドの基準価額は軟調推移となりました。5月以降は、スリランカ国債利回りの低下に加えて、3月の市場変動を受けて利回りが大

大きく上昇していた米ドル建てスリランカ国債を一部組入れたことにより、当ファンドの基準価額は大幅に上昇しました。当ファンドの基準価額は作成期を通じて+4.6%上昇(分配金再投資ベース)しました。

1万口当たりの費用明細

(2019年12月18日～2020年6月17日)

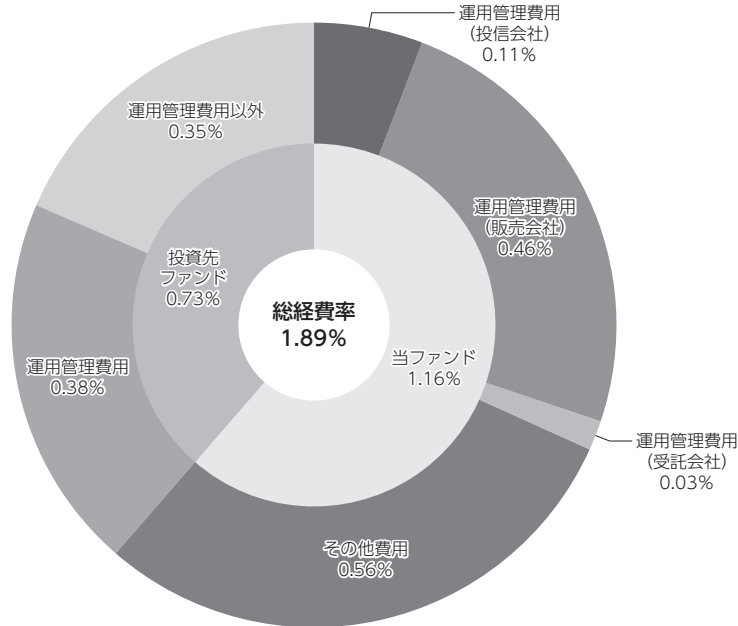
項 目	第36期～第41期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	25	0.300	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(5)	(0.055)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(19)	(0.231)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	24	0.282	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(6)	(0.076)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(17)	(0.206)	開示資料等の作成・印刷費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	49	0.582	
作成期中の平均基準価額は、8,357円です。			

- (注1) 作成期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。
当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.89%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.89
①当ファンドの費用の比率	1.16
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.38
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.35

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理比率を乗じて算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

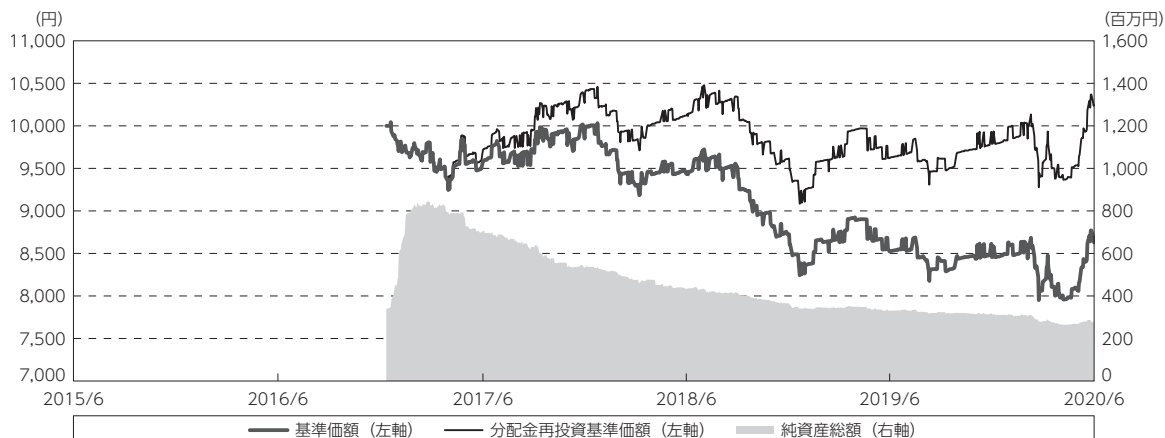
(注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注6) ①と②・③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2015年6月17日～2020年6月17日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注2) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ(2016年12月29日から2020年6月17日)のみの記載となっております。

	2016年12月29日 設定日	2017年6月19日 決算日	2018年6月18日 決算日	2019年6月17日 決算日	2020年6月17日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,582	9,436	8,521	8,628
期間分配金合計(税込み) (円)	—	135	540	460	420
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 2.8	4.2	△ 4.9	6.4
純資産総額 (百万円)	340	705	432	330	273

- (注1) 当ファンドは主として「SBIボンド スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。
 (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2017年6月19日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

(2019年12月18日～2020年6月17日)

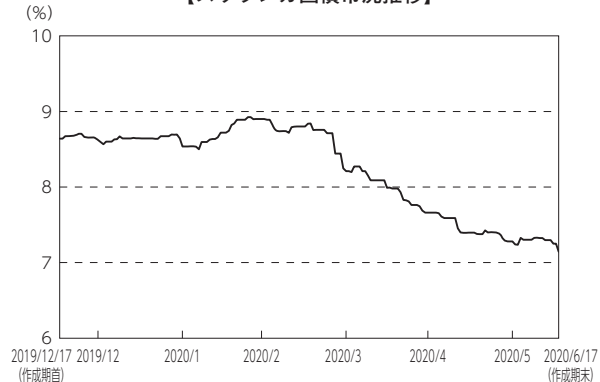
※以下のコメントの内容は、SBI bonds・インベストメント・マネジメント株式会社からのコメントを基にSBIアセットマネジメントが編集したものです。

【スリランカ国債市況】

対象期間中は、スリランカ短期国債の利回りは期の終盤にかけて低下（債券価格は上昇）しました。

スリランカ中央銀行によるインフレ見通しが低下したことに加え、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けた金融市場の混乱などにより、年明け以降に政策金利の引き下げが続いたことが国債利回りの低下につながりました。

【スリランカ国債市況推移】



出所：Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成
※国債利回りは2年国債利回りを使用しています。

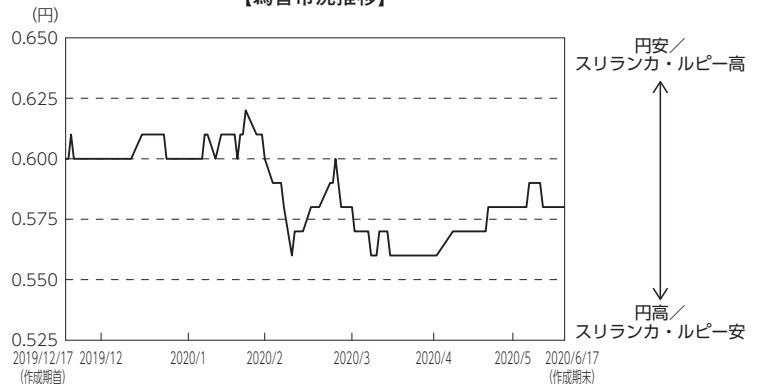
【為替市況】

対象期間中におけるスリランカ・ルピーは、期の終盤にかけて円に対して下落（円高が進行）する展開となりました。

外国為替市場では、2019年11月の大統領選挙後にスリランカ・ルピーが上昇する場面も見られました。

しかしながら、その後は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大となった2020年3月以降に、スリランカ・ルピーを含む新興国通貨は市場のリスク回避姿勢の強まりなどの影響により、軟調な展開となりました。

【為替市況推移】



※為替レートは、一般社団法人投資信託協会が発表する対顧客電信売買相場仲値を採用しています。

当ファンドのポートフォリオ

(2019年12月18日～2020年6月17日)

<当ファンド>

主として「S B I ボンド スリランカ短期国債ファンド (適格機関投資家専用)」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し、残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

<S B I ボンド スリランカ短期国債ファンド (適格機関投資家専用) >

スリランカの短期国債等(国債、政府保証債、政府機関債)及び国際機関債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

なお、直近5月末時点のポートフォリオについては以下の通りとなっております。

保有債券の属性情報

平均残存期間(年)	1.2
平均修正デュレーション(年)	1.1
平均クーポン(%)	8.52
平均直接利回り(%)	9.01
平均最終利回り(%)	13.88
平均格付け	B

- (注1) 平均格付とは、基準日時点での本ファンドの組入投資信託証券にかかる信用格付を加重平均したものです。そのため、本ファンドにかかる格付ではありません。
格付はS&P、ムーディーズ、フィッチの高いものを使用しています。
- (注2) デュレーションとは、債券投資におけるリスク度合いを表す指標です。金利変動に対する債券価格の反応度(リスクの大きさ)を表しています。なお、デュレーションが長いほど債券価格の反応は大きくなります。
- (注3) 最終利回りは、債券購入日から償還日までを得る受取利息や償還差損益(額面と購入価額の差)等、合計額が投資元本に対して1年当たりどの程度となるかを示すものです。
- (注4) クーポンは額面金額に対する単年での利息の割合を表します。
- (注5) 平均直接利回りは平均時価単価に対する平均クーポンの割合です。

資産別構成

債券	67.7%
現金等	32.3%

(注) 現金等には信託報酬及び為替ヘッジに伴う含み損益等も含まれます。

※上表については、S B I ボンド・インベストメント・マネジメント株式会社の資料を基に、S B I アセットマネジメントが作成しています。

<FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)>

主要投資対象である「短期金融資産 マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れ、これを維持しました。

「短期金融資産 マザーファンド」において、日銀の金融緩和継続により短期国債のマイナス金利が常态化するなか、国債と比較してより利回りの高い非国債セクターの保有短期債の満期償還以降は、コールローン等の比率を高めた運用を行い、市場運用ができない資金は受託銀行の金銭信託へ預け入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年12月18日～2020年6月17日)

当ファンドは主としてSBI bonds・インベストメント・マネジメント株式会社が実質的な運用を行う「SBI bonds スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し、残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

分配金

(2019年12月18日～2020年6月17日)

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案し、下表の通りといたしました。

なお、分配にあてずに信託財産内に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万円当たり、税込み)

項 目	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期
	2019年12月18日～ 2020年1月17日	2020年1月18日～ 2020年2月17日	2020年2月18日～ 2020年3月17日	2020年3月18日～ 2020年4月17日	2020年4月18日～ 2020年5月18日	2020年5月19日～ 2020年6月17日
当期分配金 (対基準価額比率)	35 0.405%	35 0.406%	35 0.427%	35 0.437%	35 0.432%	35 0.404%
当期の収益	35	35	35	35	35	35
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	140	143	147	150	155	163

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

<当ファンド>

引き続き、「SBIボンド スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し、残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

<SBIボンド スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）>

当該投資信託を運用している、SBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社は、以下のようコメントをしています。

外国為替市場においては、スリランカ・ルピーの対円での下落は緩やかなものにとどまると考えております。新型コロナウイルスの感染拡大の影響は不透明感が強いものの、国際通貨基金（IMF）は、引き続きスリランカを支援することを決定していること、またスリランカ中央銀行はスリランカ・ルピーが大きく変動する局面においては対米ドルでの自国通貨買い介入をする姿勢を示していることなどから、株式など金融市場の安定とともにスリランカ・ルピーも安定的な推移に戻るものと思われま

す。一方、債券市場においては、スリランカ短期国債利回りはレンジ内で推移することが見込まれます。新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、さらなる金融緩和の可能性は否定出来ないものの、現状は先行き不透明感が強いと考えています。また、スリランカ政府は、同国経済の構造改革を進めることにより、IMFからの引き続きの支援を得る方針です。

こうした環境下におけるファンドのパフォーマンスは、短期的には外国為替市場の影響を受けて変動する局面も想定されるものの、長期的にはスリランカ短期国債の相対的に高いインカム収益を中心としてファンドの収益が積み上がっていくものとみています。

なお、2020年5月に投資した米ドル建てスリランカ国債（2021年7月償還）に関して、同国は今後1年以内の対外債務およびドル建て国債の償還を考慮しても債務を履行できる外貨を保持できると思われることから、保有を継続する予定です。

<FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）>

主として、短期金融資産 マザーファンドの受益証券への投資を通じて、わが国の短期金融資産等（短期公社債及び短期金融商品を含みます。）を中心に投資を行います。

お知らせ

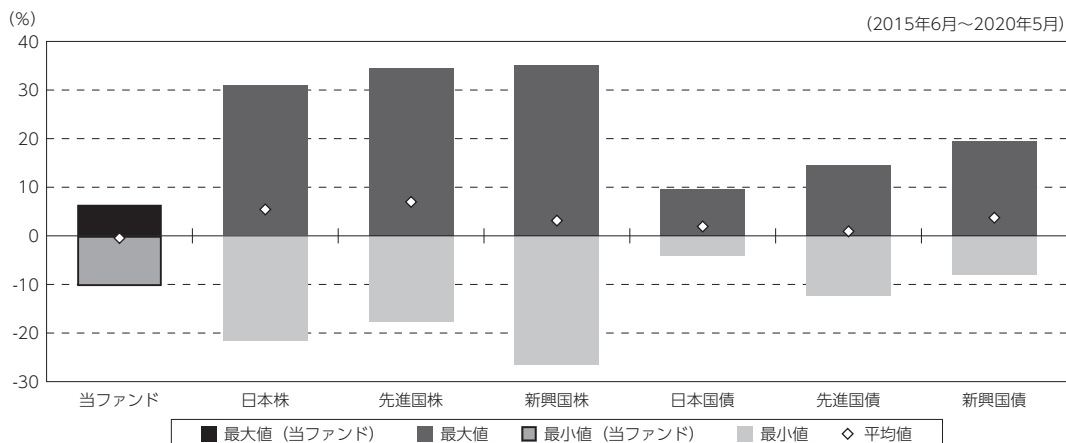
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限（設定日：2016年12月29日）
運用方針	この投資信託は、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	主として「S B I ボンド スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」及び「F O F s 用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	主として「S B I ボンド スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資するとともに、残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざします。
分配方針	毎月17日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。分配対象額の範囲は経費控除後の配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	6.4	31.0	34.5	35.0	9.5	14.5	19.5
最小値	△ 10.3	△ 21.7	△ 17.6	△ 26.4	△ 4.1	△ 12.3	△ 8.0
平均値	△ 0.5	5.4	7.0	3.1	1.9	0.9	3.7

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2015年6月から2020年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、2016年12月29日(設定日)から2020年5月29日のデータを基に算出しております。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注5) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式

先進国株…Morningstar 先進国株式 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式

日本国債…Morningstar 日本国債

先進国債…Morningstar グローバル国債 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て利子・配当込みのグロス・リターン指数です。

*各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2020年6月17日現在)

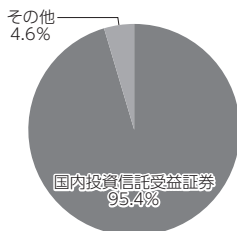
○組入上位ファンド

銘柄名	第41期末
	%
SBI債券 スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)	95.0
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	0.4
組入銘柄数	2銘柄

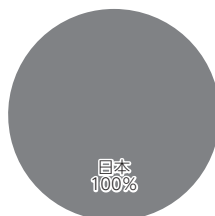
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

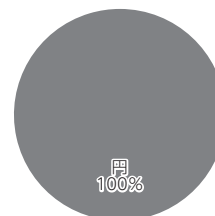
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

純資産等

項目	第36期末	第37期末	第38期末	第39期末	第40期末	第41期末
	2020年1月17日	2020年2月17日	2020年3月17日	2020年4月17日	2020年5月18日	2020年6月17日
純資産総額	312,170,346円	308,820,248円	281,493,726円	265,598,868円	267,794,072円	273,745,529円
受益権総口数	363,085,372口	359,240,848口	344,742,478口	332,838,635口	331,978,009口	317,293,758口
1万口当たり基準価額	8,598円	8,596円	8,165円	7,980円	8,067円	8,628円

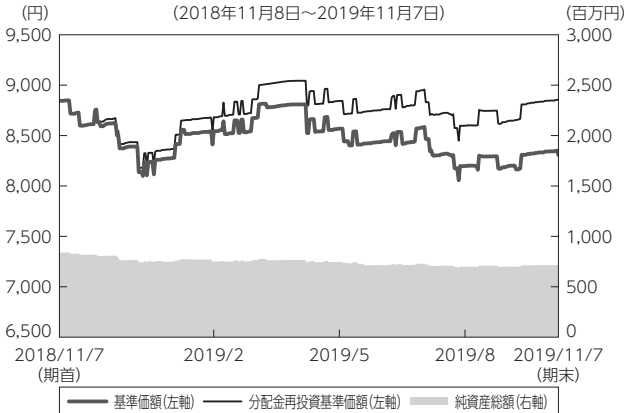
(注) 作成期中における追加設定元本額は11,210,223円、同解約元本額は63,984,322円です。

組入上位ファンドの概要

SBI ボンド スリランカ短期国債ファンド (適格機関投資家専用)

以下は当該ファンドを運用するSBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社からのデータを基に、SBIアセットマネジメントが作成しています。

【基準価額等の推移】



(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2018年11月7日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

【1万口当たりの費用明細】

(2018年11月8日～2019年11月7日)

入手可能な費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

(2019年11月7日現在)

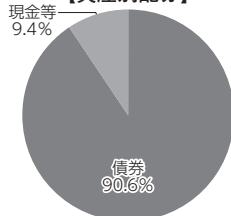
	銘柄名	国(地域)	比率
1	SRILGB 9.45% 2021/10/15	スリランカ	51.3%
2	SRILGB 11% 2021/8/1	スリランカ	39.3%
3	—	—	—
4	—	—	—
5	—	—	—
6	—	—	—
7	—	—	—
8	—	—	—
9	—	—	—
10	—	—	—
組入銘柄数		2銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

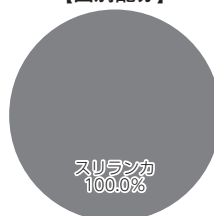
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

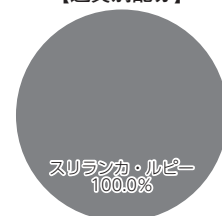
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2019年11月7日現在のものです。

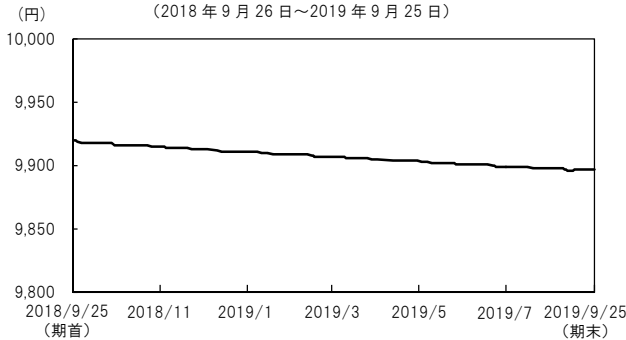
(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書を基に作成しております。

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2018年9月26日～2019年9月25日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬	14	0.140
(投 信 会 社)	(11)	(0.108)
(販 売 会 社)	(1)	(0.011)
(受 託 銀 行)	(2)	(0.022)
(b) そ の 他 費 用	1	0.008
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)
(そ の 他)	(0)	(0.003)
合 計	15	0.148

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位 10 銘柄】

当期末における該当事項はありません。

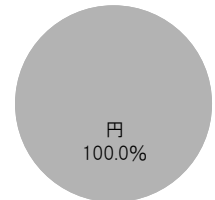
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位 10 銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは 2019 年 9 月 25 日現在のものです。

(注2) 1 万口当たりの費用の明細は、「FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)」の直近の決算期のものです。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、「FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)」の組入ファンドである「短期金融資産 マザーファンド」のデータです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※ 「短期金融資産 マザーファンド」において、日銀の金融緩和継続により短期国債のマイナス金利が常態化するなか、国債と比較してより利回りの高い非国債セクターの保有短期債の満期償還以降は、コールローン等の比率を高めた運用を行い、市場運用ができない資金は受託銀行の金銭信託へ預け入れました。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。